#### モニタリング分析【令和5年5月18日 公表】

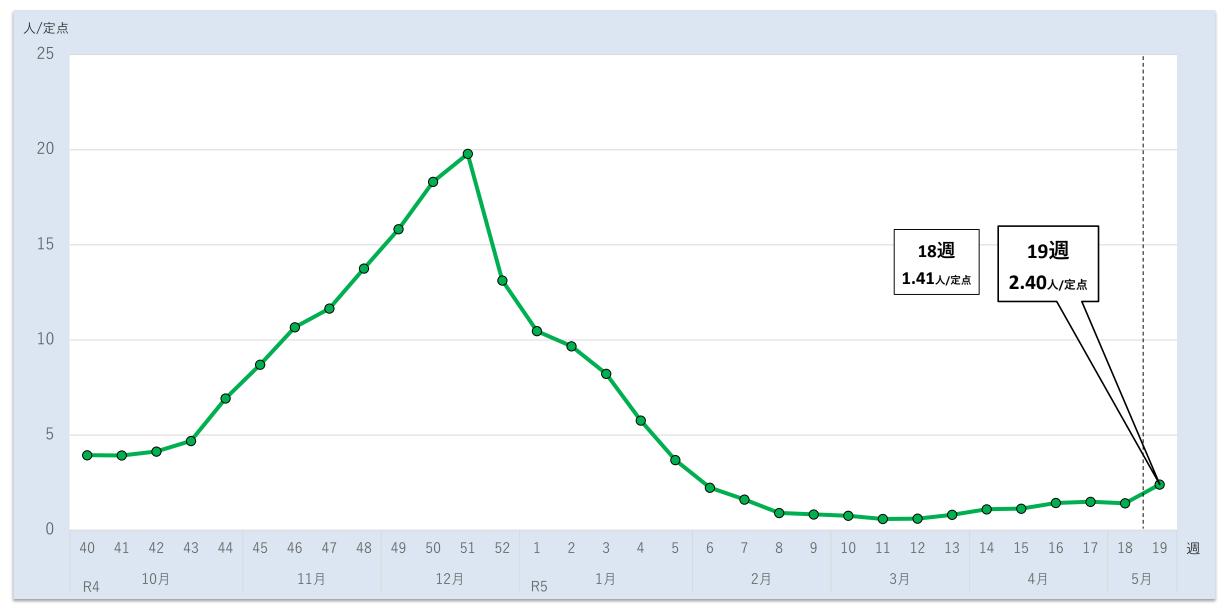
	モニタリング項目 ※①は7日間の合計、②③は7日間移動平均で算出 ※⑤は上位3つの変異株の割合を抽出		<b>今週</b> (令和5年5月18日 公表)	前週
感染動向	① 定点医療機関当たり患者報告数 【定点医療機関からの患者報告数÷定点医療機関数】		2.40人/定点 (第19週 (5/8 - 5/14) )	1.41人/定点 (第18週 (5/1-5/7) )
	② # <b>7119</b> (※1)における発熱等相談件数 【7日間移動平均】		<b>82.1件</b>	90.3件
医療提供体制 への負荷	③ 救急医療の東京ルールの適用件数(※2) 【7日間移動平均】		<b>78.3件</b>	99.9件
	④ 入院患者数 【入院患者の総数】		(5/15) 506人	781人
変異株監視		XBB.1.5	<b>24.5%</b> (4/24 – 4/30)	(4/17-4/23) 24.0%
	⑤ 病原体サーベイランス (ゲノム解析)	XBB.1.16	<b>23.0%</b> (4/24 – 4/30)	(4/17-4/23) 14.3%
	【都内検体の直近のゲノム解析結果】	XBB.1.9.1	<b>20.0%</b> (4/24 - 4/30)	(4/17-4/23) 24.3%

#### 専門家による分析

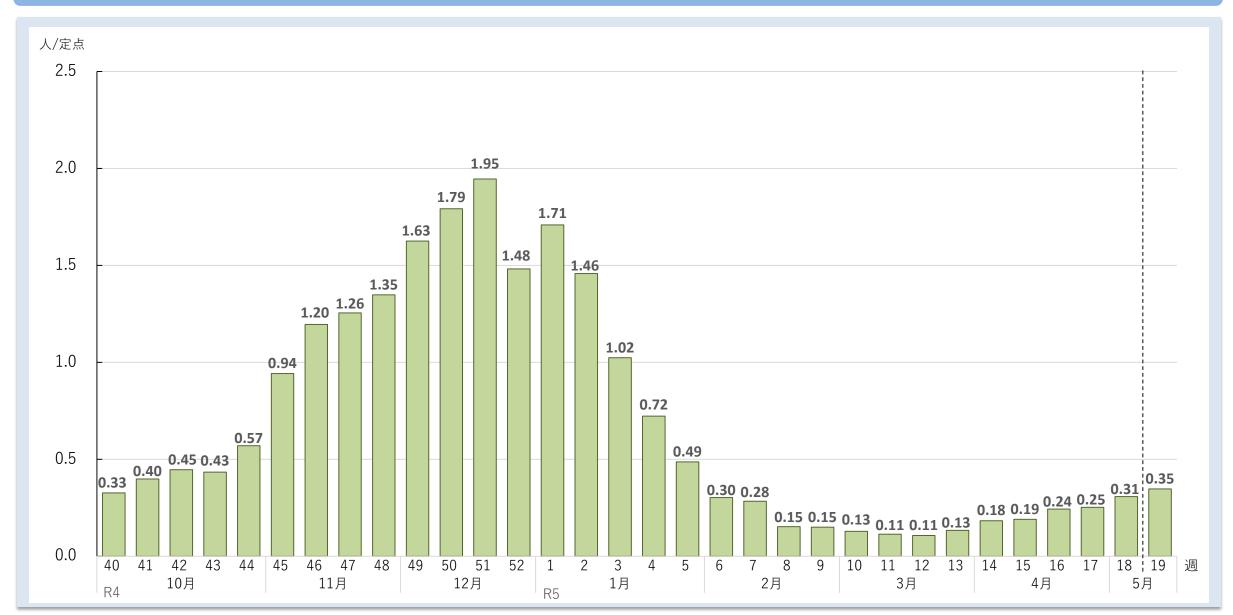
- ■定点医療機関当たり患者報告数は、前週の1.41人/定点から、今週は2.40人/定点へ増加した。
- ■発熱等相談件数及び東京ルール の適用件数は、前週との比較で減 少した。
- ■入院患者数は、前週の781人から、今週は506人に減少した。これまで患者の病状だけでなく、自宅や施設からの「隔離」を目的とした入院も行われてきたが、感染症法上の5類への移行に伴い、入院対象の変化が入院患者数に影響を与えているものと思われる。
- ■都が実施しているゲノム解析によると、免疫逃避により感染しやすくなっている「XBB.1.5」をはじめとしたXBB系統が、流行の主体となっている。今後も、新たな変異株の出現や、その動向に警戒が必要である。

<sup>【</sup>参考】VRSデータによる都民のワクチン接種状況 令和5年春開始接種(令和5年5月8日開始)高齢者(65歳以上) 4.6% (5/14)

# ①-1 定点医療機関当たり患者報告数

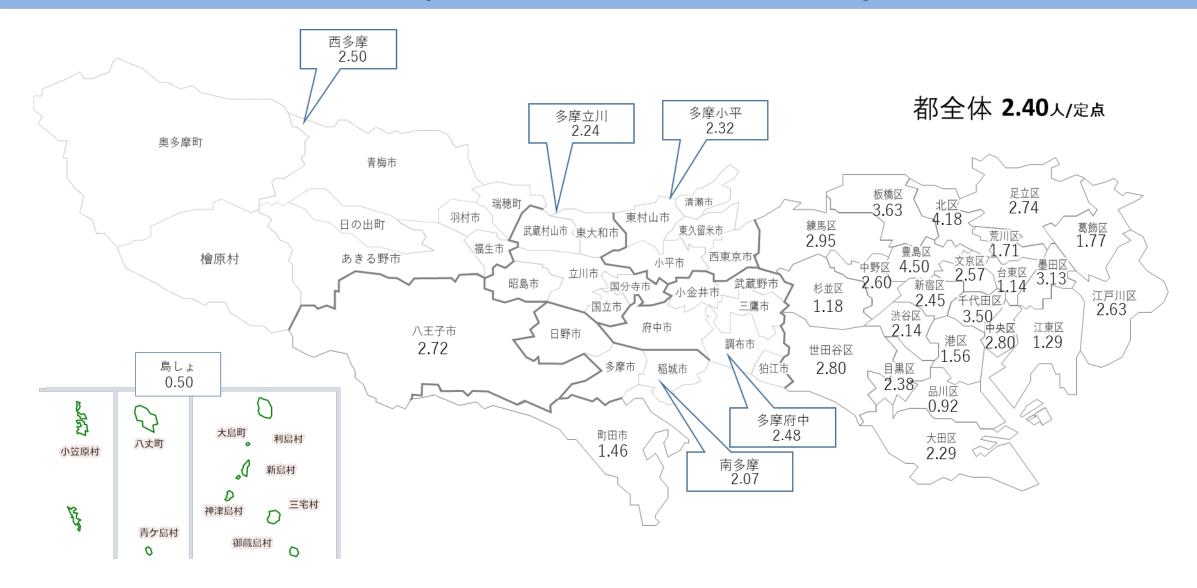


### ①-2 60歳以上の定点医療機関当たりの患者報告数

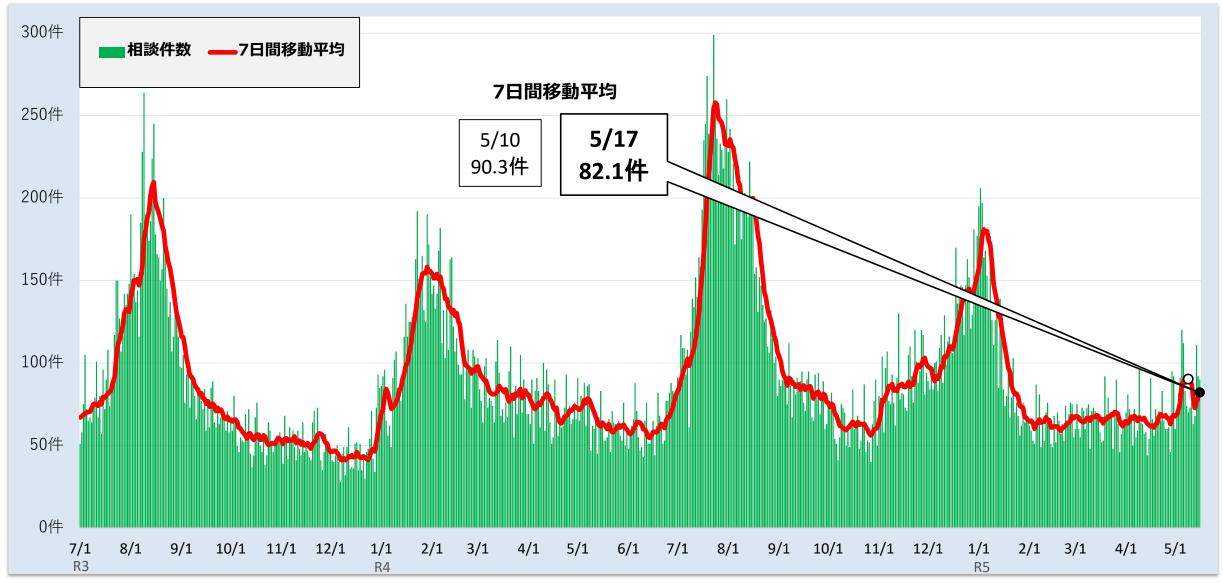


(注) 医療機関からの報告に基づき、遡って修正が加わる可能性がある

# ①-3 定点医療機関当たり患者報告数(保健所区域別、第19週(5/8~5/14))



### ② #7119における発熱等相談件数



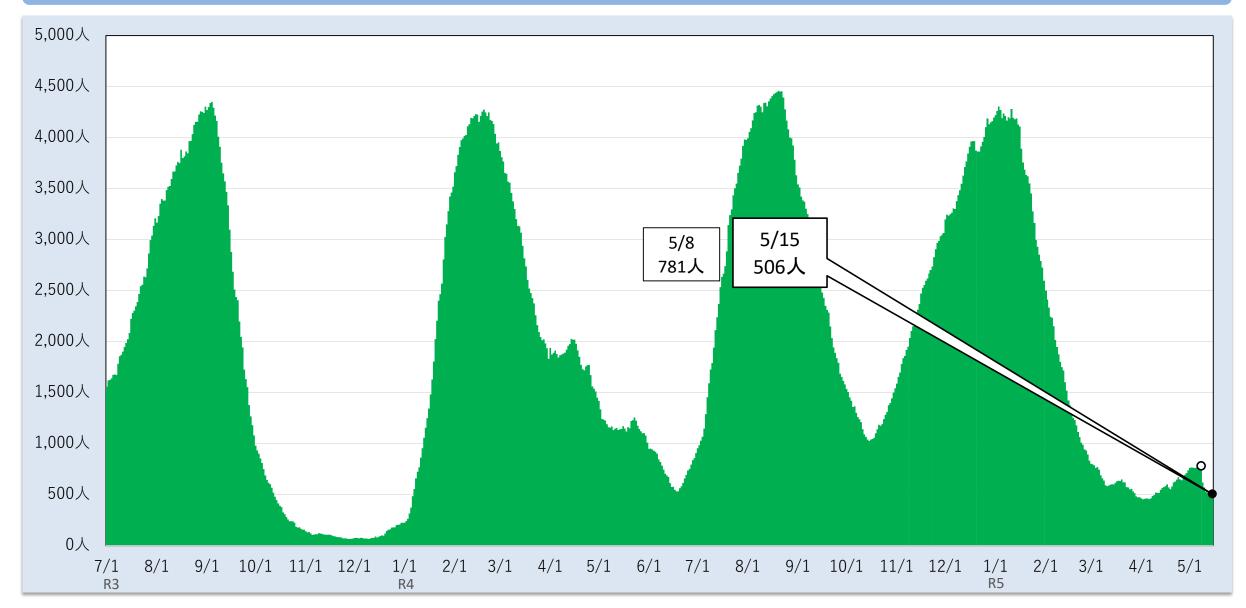
(注)曜日などによる件数のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、 過去7日間の移動平均値を相談件数として算出

### ③ 救急医療の東京ルールの適用件数



(注)曜日などによる件数のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、 過去7日間の移動平均値を適用件数として算出

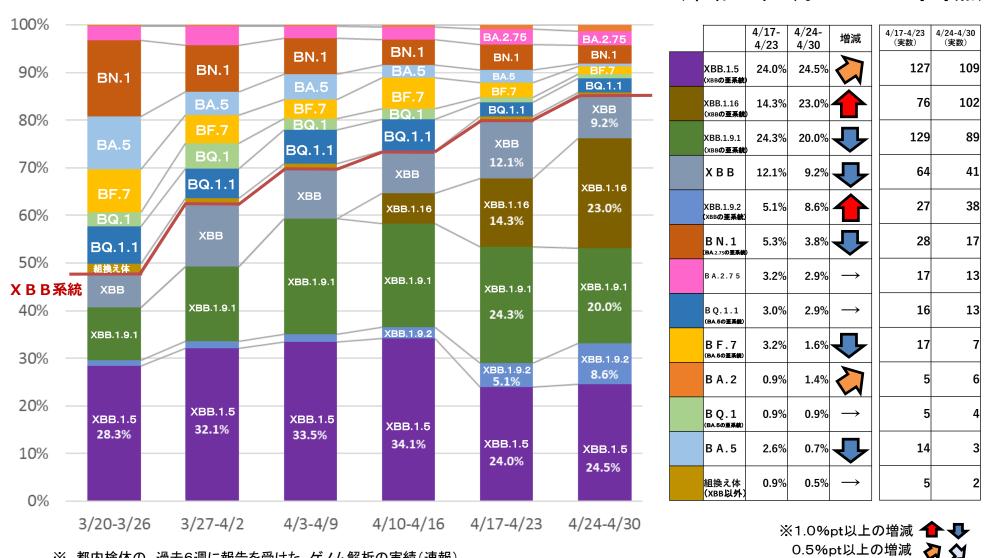
# 4 入院患者数



<sup>(</sup>注) 医療機関からの報告に基づき、遡って修正が加わる可能性がある

#### 病原体サーベイランス(ゲノム解析)

#### (令和5年5月18日12時時点)



- ※ 都内検体の、過去6週に報告を受けた、ゲノム解析の実績(速報)
- ※ 追加の報告により、更新する可能性あり
- ※ BA.2とBA.2.12.1とBA.2.75とBN.1は別々に計上。BA.4とBA.4.6は別々に計上。BA.5とBF.7とBQ.1とBQ.1.1は別々に計上。XBB.1.5とXBB.1.9.1と XBB.1.9.2とXBB.1.16は 別々に計上(XBBは左記以外のXBB系統)。(報告時点でのPango系統による)